

# 東広島市総合防災訓練

# 八本松19名の防災関係者が参加

## 避難行動要支援者救出訓練、水防工法訓練

8月23日(金) 東広島市は安芸津市民グラウンドで総合防災訓練を実施した

本年は87の機関・団体から約700名が参加。昨年の豪雨の体験から大雨災害(時間雨量80㎜、大雨特別警報発令)を想定した訓練。八本松からは19名の防災関係者が被災者移送訓練と改良された土

のう積訓練に参加した。被災者移送訓練は災害で負傷した被災者を現場から救護所へ移送するもので担架等による移送を行った。土のう積訓練はブルーシートの上で土のうを積み最後にブルーシートで包み土のうが崩れたり水漏れするのを防ぐ改良した工法。八本松の参加者は他団体より手際よい作業が見られ、日頃の訓練の成果が活かされたとともに土のう積み新工法を実地で学ぶことができた。



総合訓練に参加した八本松防災関係者



改良された土のう積訓練



被災者移送訓練

# 夜の巡回指導 校区内見回り

## 夏休みに合わせ巡回指導を強化

8月24日(土) 青少年育成部会は夏休み期間に合わせ、今年度3回目となる「夜の見回り活動」を実施した。



パトロールを実施した皆さん(8月24日)

時間程度学校区内の大型商店や公園を中心にパトロールを実施した。この日は地域の集会所や大型商店(スーパー)で夏祭りが行われており、子ども達が保護者同伴で夏祭りを楽しんでいた。なお、子ども達だけでの参加も見られ、早めに気を付けて帰宅するよう指導した。

今回は青少年育成部会の評議員とPTAの有志等25名が参加、青パト7台に分乗し午後6時から18時から1時間程度

1回(7月27日(土))、第2回は8月10日(土)いずれも午後



夏祭り会場をパトロール(8月24日)

青少年育成部会

# 小学生将棋教室

# 第16代 八小 将棋名人決まる

## 接戦相次ぎ、将棋レベルも向上 青少年育成部会

青少年育成部会は9月7日(土)地域センターで「第16回こども将棋名人戦」を開催。集まった児童は昨年を若干下回るものの、55名の参加があり子ども達の将棋への関心は継続している。

初級の部は31名の対戦で時間がかかり判定に持ち込まれるケースが相次いだ。初級で優勝を決めた

野村君は5回の戦いを全て制し「頑張りました」と満足そうだった。

中級の部は20名によるトーナメント戦。優勝決定戦は福島君兄弟の対決。



将棋教室に参加した児童 前列は各級の優勝者と準優勝者



初級の部トーナメント戦



中級の部トーナメント決勝戦



上級の部リーグ戦

兄弟での優勝決定戦は将棋教室始まって以来、始めて。二人ともこの夏仲良く練習した成果が実った。

上級の部は4名によるリーグ戦。最後に三人が2勝1敗と並んだため、詰将棋による優勝決定戦に持ち込まれ、房原君がいち早く「分かりました」と手をあげました。詰将棋に正解し優勝。なお、房原君は昨年に続く優勝で八小将棋名人の連覇を成し遂げた。他の二人と棋力が拮抗していただけに、優勝した房原君は「ギリギリでした」と感想、上級者のレベルは高い。

### お知らせ

## 東広島市 元気輝きポイント制度を開始

### 一次募集での登録団体から手帳交付中

福祉委員会

東広島市は、市民の皆様の健康寿命の延伸を目指して、高齢者を中心とした健康づくり、介護予防活動や地域でのボランティア活動を推進するため、「元気輝きポイント制度」を創設した。

現在、一次募集で本制度に登録された介護予防活動団体(地域サロン、通いの場(百歳体操)と高齢者へのボランティア活動団体(生活支援の支え合い活動、見守り活動等)から「ポイント手帳」の交付と「制度のご案内」が配布されている。

この制度を活用し、積極的な福祉活動をお願いします。なお、本制度は数年間継続される見込み。

ポイントを集められる期間  
令和元年10月1日~令和2年9月30日

ポイント数の上限

年齢	上限ポイント数 (上限報償金)	上限の詳細
40~64歳	500 (5,000円)	高齢者へのボランティア活動が500ポイント ※介護予防等活動のポイントは付きません
65~74歳	500 (5,000円)	高齢者へのボランティア活動が500ポイント
	500 (5,000円)	介護予防等活動が500ポイント
75歳以上	1,000 (10,000円)	高齢者へのボランティア活動と介護予防等活動を合わせて1,000ポイント

※上限以上は、報奨金の対象となりません。